

事業計画書（実績書）

令和4年11月9日

団体名 スペース09

事業の目的	『生きづらさを抱える人たちへ』公共の支援の対象にあてはまらないものの、「みんな」と同じような暮らしが少し困難な人々の現状を共有しあい、当事者や専門家の意見交換と話し合いを綾部市を舞台に行います。
事業の名称	「大人の発達障害・ひきこもりを綾部から考えるシンポジウム」
事業費 （市補助金）	266,652 円 (100,000 円)
補助金の使途	パネリストへの講師謝金 会場使用料・消耗品費・広告宣伝費等
事業の実施期日	令和4年11月5日(土)
事業の実施場所	日東精エアリーナ
事業の概要	1. 「スペース09たまにたねふね」における、グレーゾーンにある人々による就労・労働に関する実践報告。 2. グレーゾーン当事者の声の報告。 3. 綾部市障害者支援課における就労支援についての報告。 4. 中丹東保健所における精神保健福祉についての報告。 5. パネルディスカッション「グレーゾーンな人々の働く・食べる・学ぶ」について、パネリストによる学術的専門性（社会学・言語学・文化人類学・哲学・社会福祉学）を踏まえ、グレーゾーンの人々の綾部における生活での課題を考えた。 来場者数 80名
補助金の効果（成果）	綾部、特に新庄に暮らす引きこもりだったり精神的にしんどい方たちが壇上で発言できたことは、とても感慨深かった。 今後、発達障害やグレーゾーンの人たちの協議体や就労支援を行政やボランティアセンター、地域と一緒に取り組めたらと思う。

様式第4号（第3条及び第7条関係）

収支予算書（計算書）

令和4年11月9日

団体名 スペース09

(単位：円)

収 入 の 部	区 分	予 算 額	収 入 済 額	明 細
	市補助金	100,000	100,000	
	京都府交響プロジェクト助成金	137,733	111,101	
	自己資金	68,867	55,551	
	合 計	306,600	266,652	
支 出 の 部	区 分	予 算 額	支 出 済 額	明 細
	パネリスト謝金	40,000	40,000	2名
	講演会講師・パネリス ト謝金	100,000	50,000	1名
	その他謝金	50,000	50,000	司会¥15,000 高齢者等サポートスタッフ2名¥7,000 コロナ対策スタッフ2名¥13,000 テクニカルスタッフ¥15,000
	旅費	25,000	24,200	講師・サポートスタッフ等旅費9名
	会場使用料	17,600	11,400	研修室昼間¥8,600 暖房費¥2,800
	プロジェクター・スクリーン使用料	4,000	0	会場費に含む
	人件費	10,000	10,000	団体スタッフ事務費
	消耗品費	20,000	41,052	衛生・文具・お茶
	広告宣伝費	40,000	40,000	チラシ制作・印刷費
	合 計	306,600	266,652	
	差 引	0	0	